

科目名 (Eng)		物質工学セミナー(Engineering Seminar)								
担当教員		全員								
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
		物質工学科	4	後期	必修	1	30	専門	C	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-3). (D-4). (D-5). (E-4). (F-1). (F-2). (F-3).									
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：(d)-(2)-c). (e). (f)									
授業の概要と方針		JABEE基準1(1)との対応：								
授業の概要と方針		各研究室に配属され卒業研究へ向け、文献検索技術、英文購読能力、およびプレゼン能力の向上を図り、研究方法を会得すること。								
到達目標		①工学分野の英語文献に触れ、理解することができる。 ②文献の検索ができるようになり、その手法を卒業研究に生かすことができる。 ③専門分野における先端の技術を理解し、新たな問題を発見できる。 ④学会発表に堪えられるプレゼンテーション能力を身につける。								
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容						事前学習	
前期	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
後期	16	各研究室の紹介	各研究室の研究内容						配属希望研究室の卒業研究 中間発表要旨集等を読む	
	17	各研究室の紹介	各研究室の研究内容							
	18	各研究室の紹介	各研究室の研究内容							
	19	希望調査と配属先の決定	次週からセミナーを受講する配属研究室の研究内容							
	20	(五十音順)								
	21	青木ゼミ	流通反応器による反応速度測定・反応速度 反応器内移動現象							
	22	青柳ゼミ	生体物質類似化合物及び新規ポルフィリン・ヘム・再構成ヘム蛋白質の合成と性質							
	23	天野ゼミ	バクテリア及びバクテリオファージ実験法・分子進化の研究法と応用							
	24	伊藤ゼミ	シリコンケミストリー・ケイ素化合物の特性							
	25	内田ゼミ	材料の機能、水質評価法・顕微鏡用試料の作製と観察、各種評価装置の原理							
	26	梅澤ゼミ	有機材料合成・2次非線形光学							
	27	鴨下ゼミ	微細藻類の培養・水耕栽培と屋上緑化							
	28	酒巻ゼミ	光とエネルギー・環境・ナノテクノロジー・電気化学測定の基礎と電子移動反応							
	29	柴田ゼミ	動物・植物組織からのタンパク質の抽出・精製・D-アミノ酸の分布・代謝・生理的役割、食品中の機能成分							
	30	羽切ゼミ	光物理化学・光機能性材料、ゼオライト科学							
試験について		定期試験は実施しない。								
評価方法		報告書の内容を70%、プレゼンテーションの内容を30%として評価する。								
教科書		担当指導教員により指定される。								
参考書		担当指導教員により指定される。								
関連科目		卒業研究								
履修上の注意		旺盛な好奇心をもち、自発的な学習を基本とする。								